

議題	第 21 回運営推進会議		
日時	2026 年 8 月 19 日(水) 13:30～14:15		
場所	デイサービス若芝 2F 和室		
出席者	(順不同敬称略) 【K 様息子様 IH 様】【芝本町区長 Y 様】【民生委員 M 様】【地区地域包括支援センター 看護師 T 様】【社会福祉士 実習生 IM 様】【I 様 嬢様】 【WM グループ統括】【WH センター長】【U「若芝」「山風木」主管】【MY「若芝」管理者】 (議事録作成者) WM (議事進行者) WM		
会議の詳細			
● ごあいさつ (統括 WM) ～出席者のご紹介、本会議の趣旨 (目的) について～ ● デイサービス若芝の現況 (統括 WM) ● 事業所としての取り組み (主管 U) ● デイサービス若芝の活動 (主管 U) ・写真をみていただきながらの活動報告 ・個別の活動をいろいろと考えて実施していることを説			
1. 開会・出席者自己紹介			
● IM 様: 85 歳の母が若芝を利用中。今回が初出席。 ● K 様: 母が利用中 3 回目の参加。 ● Y 様(民生委員): 以前、要介護度の高い母がお世話になり大変感謝している。 ● IH 様(区長): 初参加。事業所近くに居住。12 月の防災訓練への若芝の参加も知っており情報共有を含めて参加。 ● M 様(地域包括支援センター): 看護師として出席。実習生の T 様(大学 3 年生)を紹介。			
2. 事業所からの報告			
統括 WM			
● 会議の趣旨: ○ 地域密着型サービスとして、半年に 1 回の情報共有・意見交換の場(介護保険制度上の規定)。 ○ 議事録作成・公表のための録音についての了承。 ● 事業所概要・現状報告: ○ 開設・規模: 平成 24 年 1 月 1 日認可(14 年目)。定員 10 名の小規模デイサービ			

ス。

- **立地**： 芝本町商店街のお膝元。三嶋大社への初詣やお祭りの見学など、恵まれた立地。
- **関連事業所**： デイサービス山風木（加屋町／認知症対応型）、デイサービスいぶき（令和 6 年に東海病院近くへ本社機能移転・認知症対応型・居宅介護支援併設）。
- **稼働状況・ご利用者像**： ほぼフル稼働。8 割以上が認知症の方。要介護 1～2 の軽度～中度の認知症初期の方が中心。
- **組織・取り組み・活動**：
 - **組織力・人材育成**： グループ全体で 30 名弱。若手職員の定着と介護福祉士などの資格取得支援。「若芝」と「山風木」間での職員交流・相互連携。
 - **日常活動**： マックスバリュへの買い物、源兵衛川散策、生涯学習センターでの美術展鑑賞、お花見などの地域・社会参加。
 - **イベント・情報発信**： 「47 都道府県ご当地菓子企画」（今月は宮城県）。月刊情報誌の発行、週 1 回のブログ更新。
 - **ICT・防災設備**： タブレット・AI などの ICT 活用（業務効率化）。非常用トイレ・防災用品の拡充。

MY（活動スライド説明）

- **季節の活動・外出**： 清住緑地、龍沢寺、佐野美術館隣の庭園開放（梅鑑賞）、白滝公園散策。
- **館内活動・イベント**： 合同おやつ、お誕生日会、ゲーム活動、フラワーアレンジメント（週 1 回火曜日）、味噌作り（2 月）、梅シロップ作り、水彩画・絵手紙（月 1 回）。
- **作品展鑑賞**： 7 月に生涯学習センターで開催された三島市美術展にご利用者と合同で鑑賞（過去に出品経験のあるご利用者もおり好評）。

3. 出席者ごとの発言内容・地域課題の共有

Y 様（民生委員）

- **高齢化・独居世帯の増加**： 本町エリアでは 1 人暮らしの高齢者や老老介護世帯が急増。若い世代が戻ってこない現状がある。
- **日常支援の課題（ゴミ出し）**： 足腰が悪くなり、収集所までゴミを持って行けない高齢者が増えている。個人的に両隣の高齢者のゴミ出しをサポートしているが、個人での対応には限界を感じている。

K 様・ご家族様(家庭での悩み・BPSD への対応)

- ・ 「帰りたい」という願望(帰宅願望)への対応:
 - K 様・ご家族様: 自宅や他のデイサービス・ショートステイで「帰りたい」と強く訴えたり、手持ち無沙汰になると頑なになることがある。
 - MY 管理者・WM 統括: 若芝では人数が少なく目が行き届きやすいため、洗濯物畳みや食器拭きなどのお手伝いを頼むことで気持ちを上手にそらし、スムーズに対応できている。

地域包括支援センター M 様

- ・ ゴミ出し・独居支援の現状:
 - 急な骨折や体調不良でゴミ出しができなくなる高齢者が多発。
 - 市の「ふれあい爽やか回収」は要支援・要介護の認定結果が出ないと利用できず、緊急時の対応が難しい(自費ヘルパー等の紹介で対応している事例あり)。
- ・ 早期把握・見守りの重要性: 支援を拒否する方や包括が把握していない独居高齢者が自宅で倒れ、レスキューや警察が入る事態も発生している。民生委員や地域との情報共有・早期相談が不可欠。

IH 様(区長)

- ・ 地域の防災・見守り連携:
 - 地域内にこうしたデイサービスがあることを町内会役員で再認識する必要性を実感。
 - 地震等の災害時には、町内会と事業所が力を合わせて対応していく重要性を強調。

WM 統括

- ・ 地域の課題とチームケア:
 - 独居・老老介護、遠方(石垣島等)にキーパーソンがいるケース、外国籍のご利用者の増加など課題が多角化している。
 - 「新しい認知症観」(認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生きる)に基づき、事業所内だけでなくケアマネジャー、包括、町内会・地域住民と連携した「チームケア」を推進していく。

4. まとめ

- ・ 地域の見守り連携: 町内会長経験者からの「デイサービスのお散歩自体が地域の見守

リパトロール隊になっている」という言葉を紹介し、地域共生に向けた協力を確認。

- **次回開催予定：** 半年後(2027 年 2 月予定)